

(概要版)

# 小学校におけるキャリア教育の推進に向けての調査研究 — 学校外の人材を活用した教育活動に視点を当てて —

長期研修員 佐藤 健

## 現状と課題

### <国・県などの動向>

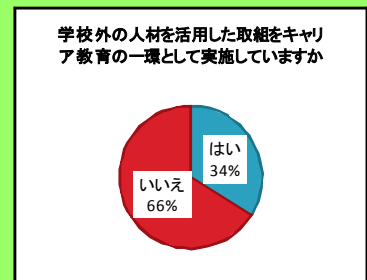
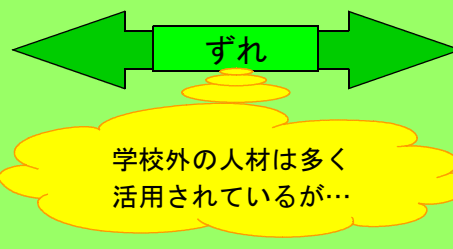
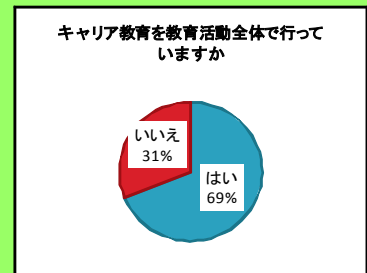
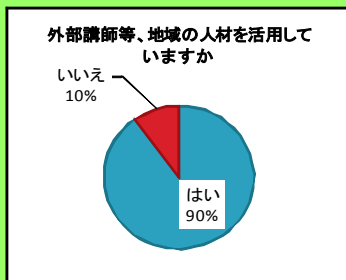
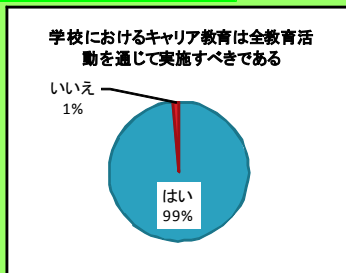
- キャリア教育推進の手引  
(文部科学省；平成18年11月)
- 小学校教員向けパンフレット  
(国立教育政策研究所；平成21年3月)
- 学校教育の指針  
(群馬県；平成21年4月)

キャリア教育の重要性

### キャリア教育で求められていること

- 学校の教育活動全体で行う
- 既存の教育活動をキャリア教育の視点から見直す
- 組織的・系統的に取り組む
- 学校・家庭・地域との連携・協力を図る

### <調査結果から>



学校外の人材を活用した学習活動をキャリア教育の取組として機能させることができれば、大きな負担なくキャリア教育が推進できるのでは…



## 提案

<提案1> 学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

<提案2> キャリア諸能力の伸長に関連する学校外の人材を活用した単元・題材等の一覧

<提案1> 学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

該当学年、教科・領域名、単元・題材等の名称、目標

活用できる人材と活用場面

育成することが期待される能力・態度

キャリア教育の視点※から、単元・題材等の学習を通して育成できる具体的な能力や態度が分かります。

他教科・領域との関連

育成される能力や態度が、同学年の他のどの単元・題材の学習と関連があるかの系統性が分かります。

学校外の人材を活用した取組のポイント

児童に対する指導事項や内容が、段階を追って分かります。

協力してくれる学校外の人材への連絡事項や連携のしかたが具体的に分かります。

学校外の人材を活用する事前や事後、当日における配慮事項や準備等が具体的に分かります。

※キャリア教育の視点とは  
将来の社会的自立・職業的自立を念頭に置きながら、子どもたちの成長や発達を促進する見方をもつこと

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

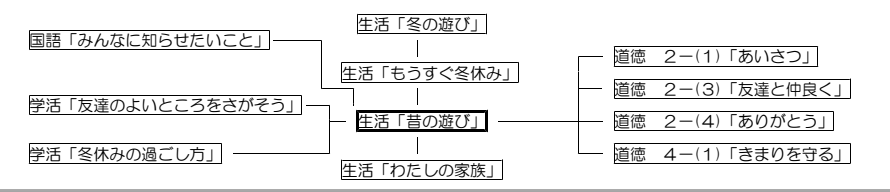
学年 1 教科・領域 生活 単元・題材等 昔の遊び  
単元・題材等の目標 お年寄りから教えてもらうなどして昔の遊びを調べ、昔からの遊びにはいろいろなものがあることに気づき、発表したり楽しく遊んだりする。

○活用できる学校外の人材と活用場面  
祖父母や地域のお年寄り  
\*来校してもらい、昔の遊びや昔から伝わる遊びのやり方や技のコツなどを教えてもらう。

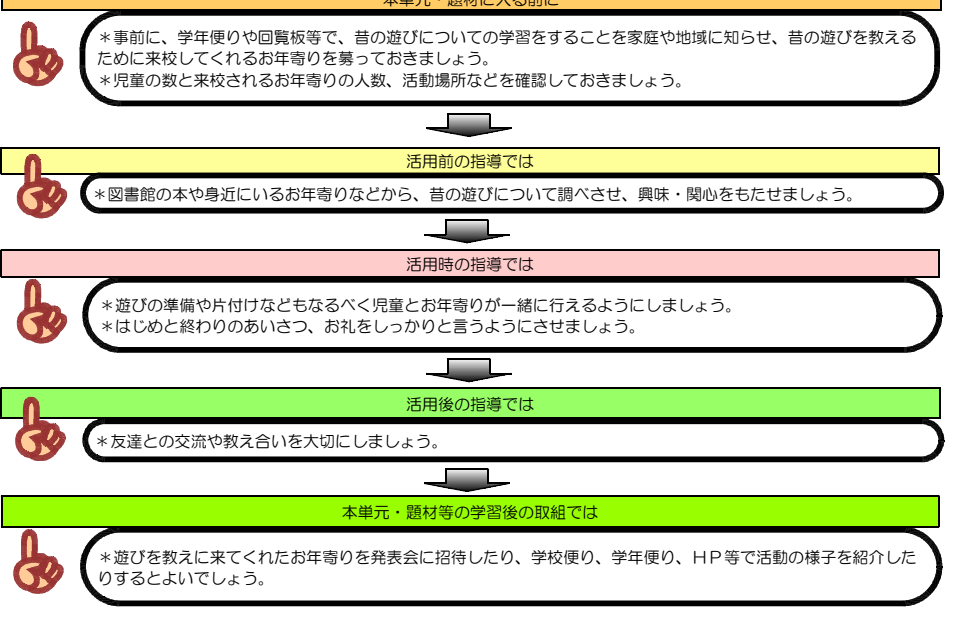
○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度  
\*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・友達と仲良く昔の遊びを行い、教え合う。【**自他の理解能力**】
- ・昔の遊びを覚えてくれた人に感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・昔の遊びを覚えてくれた人にあいさつや返事をし、感想やお礼を言う。【**コミュニケーション能力**】
- ・昔の遊びの発表で、やり方や感想をみんなの前で話す。【**コミュニケーション能力**】
- ・昔の遊びの準備や片付けをする。【**計画実行能力**】
- ・遊びの時間やルールを守ろうとする。【**計画実行能力**】
- ・自分でやりたいと思う昔の遊びを選び、教えてもらったり、練習したりする。【**選択能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



これならキャリア教育の授業ができそう...



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

①昔の遊びについて調べよう  
◆図書館にある本や身近にいるお年寄りなどから、昔からある遊びにはどのようなものがあるか調べる。

学習活動	指導上の配慮事項
●昔からの遊びについて調べる。 ●調べたことや身近なお年寄りから聞いてきたことを紹介し合う。 ●次時の昔の遊びを覚えてもらう活動について知る。	○正月に遊んだ経験や祖父母などから聞いた話なども思い起こさせる。 ○実際に遊んだ経験のある児童に、その感想などを発表させるとその後の意欲付けにつながる。 ○教えてもらう際の注意事項やマナーなどについて事前指導しておく。

評価の観点  
・昔からの遊びについて意欲的に調べ、紹介している。  
・次時の活動について知り、遊びを覚えてもらう際のマナーや注意事項が分かる。

活用時の指導

②遊び方を知り練習しよう  
◆来校してくれたお年寄りなどから、昔からある遊びのやり方を教わり練習する。

学習活動	指導上の配慮事項
●はじめのあいさつをする。 【 <b>コミュニケーション能力</b> 】 「こんにちは。今日は、よろしくお願ひします。」 ●活動場所に分かれ、昔の遊びを教わる。 【 <b>自他の理解能力</b> 】 【 <b>計画実行能力</b> 】 【 <b>コミュニケーション能力</b> 】 【 <b>選択能力</b> 】 「ありがとうございました。次は、あの遊びをしてみよう。」 ●感想を発表し、終わりのあいさつをする。 【 <b>コミュニケーション能力</b> 】 「今日は、いろいろな遊びができて楽しかったです。ありがとうございました。」	○来校された人の紹介をし、あいさつをさせる。 ○準備や片付けなども一緒に行うようにさせる。 ○教えてくれたことに対し、しっかりとお礼を言うように声掛けをする。 ○練習しながら、技のコツや遊び方の工夫なども考えさせる。 ○なるべく多くの遊びに取り組み、やってみるよう声掛けをする。 ○本時の感想を発表させ、お礼のあいさつをさせる。

評価の観点  
・はじめと終わりのあいさつ、お礼などがしっかりとと言える。  
・遊びの約束を守り、片付けがしっかりとできる。  
・自分のやりたい遊びについて、意欲的に教わり、練習している。

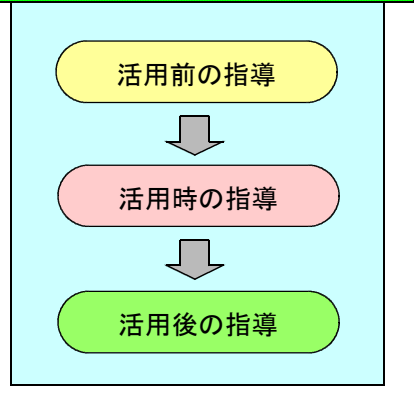
活用後の指導

③発表会をして楽しく遊ぼう  
◆昔からの遊びを友達に発表したり、教え合いをしたりして、みんなで楽しく遊ぶ。

学習活動	指導上の配慮事項
●昔からの遊びの発表会を行う。 【 <b>コミュニケーション能力</b> 】 「一緒に発表しよう。」 「みんな上手にできているね。」 ●昔からの遊びを教え合う。 【 <b>自他の理解能力</b> 】 「こんな遊びもできるようになったよ。わたしも、あの遊びを友達にも教えてあげよう。」	○個人やグループで発表し、感想を発表させる。 ○上手にできたことや協力して発表できたことを賞賛する。 「教えてもらったコツがよく分かりましたね。」 ○お年寄りから教えてもらったことを思い出させ、遊びのコツなどが伝えられるように声掛けをする。 「今日の活動の様子を学校便りに載せましょう。学校のHPでも紹介しましょう。」

評価の観点  
・発表会で、やり方や感想が発表できる。  
・遊びの教え合いで、仲良く教えることができる。

学校外の人材を活用する指導の流れ



各指導段階ごとの具体的な授業の展開が分かります。

それぞれの学習段階で、児童に身に付けさせる能力が分かります。

児童の具体的な反応や様子が想像でき、目指す児童像がつかめます。

指導上の配慮事項から指導のポイントが明確になります。

キャリア教育の視点からの評価の観点も明確になり、評価方法が構築しやすくなります。

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデルを活用することにより

こんな効果が期待できます

単元・題材等で育成が期待されるキャリア教育の視点からの能力・態度が明確になります。

授業の進め方や指導事項を段階を追って把握することができます。

他の教科・領域と関連をもたせた系統的な指導を行うことができます。

協力してくれる学校外の人材に対する具体的な配慮事項等が分かります。

<キャリア教育実践モデルの作成単元・題材等>

教科・領域	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語			書写(毛筆指導、支援) ちいちゃんのかげおくり／一つの花 (戦争題材)		書写(毛筆書き初め指導、支援)	
社会			人々の仕事とくらし (商店、農家、工場) 安全なくらし (消防署、警察署)	住みよいくらし (飲料水、ごみの処理) 古い道具と昔のくらし	生活と工業 (自動車工場) 生活と情報 (放送局、新聞社)	戦争と人々のくらし 世界の平和と日本の役割
算数			そろばん			
理科				夏の星／冬の星		
生活	動物と友達 昔の遊び	町探検 自分の成長				
音楽			鍵盤ハーモニカ	リコーダーに親しもう		日本の音楽を味わおう
図工						布で作ってみよう (ミシンの使い方)
家庭						
体育		水遊び		浮く・泳ぐ運動		水泳
道徳						
総合				地域を知ろう(郷土・地域学習) 人権、福祉	稲作(米作り)	環境
特活	楽しい給食、いろいろと食べよう(食の指導)		万引防止指導 (万引防止教室)	自転車の安全な乗り方 (自転車安全教室)		

<提案2> キャリア諸能力の伸長に関連する学校外の人材を活用した単元・題材等の一覧

領域	能力	1年
人間関係形成能力	【 <b>自他の理解能力</b> 】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いを認め合うことを大切に行動していく能力	生活「動物と友達」 生活「昔の遊び」 生活「野菜づくり・植物栽培」 音楽「鍵盤ハーモニカ」 体育「水遊び」 特活「楽しい給食」
	【 <b>コミュニケーション能力</b> 】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	生活「動物と友達」 生活「昔の遊び」 生活「野菜づくり・植物栽培」 音楽「鍵盤ハーモニカ」 体育「水遊び」 特活「楽しい給食」
情報活用能力	【 <b>情報収集・探索能力</b> 】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	生活「野菜づくり・植物栽培」 体育「水遊び」 特活「楽しい給食」
	【 <b>職業理解能力</b> 】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力	生活「動物と友達」 生活「野菜づくり・植物栽培」
将来設計能力	【 <b>役割把握・認識能力</b> 】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	生活「動物と友達」 生活「野菜づくり・植物栽培」 特活「楽しい給食」
	【 <b>計画実行能力</b> 】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	生活「動物と友達」 生活「昔の遊び」 生活「野菜づくり・植物栽培」 音楽「鍵盤ハーモニカ」 体育「水遊び」
意思決定能力	【 <b>選択能力</b> 】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	生活「昔の遊び」 生活「野菜づくり・植物栽培」 体育「水遊び」
	【 <b>課題解決能力</b> 】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	生活「野菜づくり・植物栽培」 音楽「鍵盤ハーモニカ」 体育「水遊び」 特活「楽しい給食」

キャリア発達にかかわる諸能力  
(4能力領域 8能力)  
：  
「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」  
(国立教育政策研究所生徒指導センター平成14年11月)より

単元・題材等は、調査により多くの学校から学校外の人材を活用していると回答のあったものを取り上げました。

学校外の人材を活用する場面だけではなく、その単元・題材等の学習全体を通して育成されると考えられる能力すべてを洗い出し、該当する8能力に振り分けました。  
(例) 1年生活「昔の遊び」

キャリア諸能力の伸長に関連する学校外の人材を活用した単元・題材等の一覧を活用することにより

小学校6年間を見通した計画的・系統的な指導が構想できます。

キャリア諸能力のうち、どの能力が育成されるかが一目で分かります。

研究のまとめ

- 今まで各学校で行ってきた取組をキャリア教育の視点から見直すことで大きな負担なくキャリア教育の推進に結び付けることができます。
- 学校外の人材を活用した実践モデルを参考にして授業を見直し、構想・実践すれば、キャリア教育の授業として機能するものになります。
- 実践モデルに基づいた具体的な授業実践と、さらに幅広いキャリア教育の取組の紹介や実践の積み重ねが必要と考えます。